

中学2年 英語 授業用プリント ② 不定詞 (to + 動詞の原形)

1 全体像	2 品詞	3～5 名詞的用法	6 形容詞的用法	7・8 副詞的用法	9 見分け方	10 長文
-------	------	-----------	----------	-----------	--------	-------

1 不定詞の全体像 — 3つの用法を先に見渡す

このページのゴール 不定詞の3つの用法の名前・訳・働きを、ざっと言える

不定詞 = **to + 動詞の原形**。後ろの語までふくめて1つのかたまり (to play soccer など) にして、文の中で使う形

「サッカーをするのが好き」は、× I like play soccer. とはいけません。play を to play にして、to play soccer (サッカーをすること) というかたまりを作ります (I like to play soccer. = 私はサッカーをすることが好きだ。)。このかたまりが文の中でする仕事は、次の3つです。用法の名前は、to ～ のかたまりが**名詞・形容詞・副詞**のどれと同じ仕事をするかの名前です (品詞は2ページ)。

名詞的用法 「～すること」くわしくは 3～5ページ

働き 名詞と同じ働き。「何を?」「何が?」の答えになる

形 want・like などの動詞 + **to ～** / be動詞 + **to ～** / **To ～** が主語

I like **to read**. (私は読むことが好きだ。) ← 何が好き?

My plan is **to travel** around the world. (私の計画は世界中を旅することだ。)

形容詞的用法 「～するための」「～すべき」などくわしくは 6ページ

働き 形容詞と同じ働き。前の名詞を後ろから説明する (どんな名詞?)

形 名詞 ← **to ～** (日本語は説明が前、英語は説明が後ろ)

I have a **book to read**. (私には読む本がある。) ← どんな本?

副詞的用法 「～するために」「～して」くわしくは 7・8ページ

働き 副詞と同じ働き。文に「何のために」(目的)や「なぜその気持ちに」(原因)をつけ足す

形 完成した文 + **to ～** 「～するために」 / 気持ちの語 + **to ～** 「～して」

I went to the library **to read**. (私は読むために図書館へ行った。) ← 何のために?

I was sad **to read** the story. (私はその物語を読んで悲しくなった。) ← なぜ?

合言葉 「～的用法は、名詞・形容詞・副詞と同じ仕事」

どの用法でも、不定詞の to の後ろは動詞の原形です。

× He wants to plays tennis. → ○ He wants **to play** tennis.
(彼はテニスをしたい。)

この単元の解説記事 (図と例題つき) : [かてきょノート \(katekyo-note.com\)](https://katekyo-note.com/%e3%80%90e4%b8%ad2%e8%8b%b1%e8%aa%9e%e3%80%91e4%b8%8d%e5%ae%9a%e8%a9%9e%ef%bc%88to%e5%8b%95%e8%a9%9e%e3%81%ae%e!) <https://katekyo-note.com/%e3%80%90e4%b8%ad2%e8%8b%b1%e8%aa%9e%e3%80%91e4%b8%8d%e5%ae%9a%e8%a9%9e%ef%bc%88to%e5%8b%95%e8%a9%9e%e3%81%ae%e!>

2 品詞 — 3つの用法の土台（名詞・形容詞・副詞の仕事）

このページのゴール 名詞・形容詞・副詞が文の中でする仕事を言え、3つの用法がなぜその名前か分かる

① 3つの品詞がする仕事

品詞	仕事	答える問い	例文と訳
名詞	人・もの・ことの名前。主語、動詞の後ろ、be動詞の後ろに置く	何が？ 何を？	Ken likes music. (ケン は 音楽 が 好きだ。)
形容詞	名詞を説明する。ふつう名詞の前か、be動詞の後ろに置く	どんな？	That is a big house. (あれ は 大きい 家だ。)
副詞	ふつう名詞以外（動詞・形容詞・文）を説明する	いつ？ どこで？ どのように？ なぜ？	Ken runs fast. (ケン は 速く 走る。)

合言葉 「形容詞は名詞を、副詞はふつう名詞以外を説明する」

② 名詞を説明する語は、どこに置く？

形容詞は名詞の前に置きます。前置詞 + 名詞や to ～ のかたまりで説明するときは、名詞の後ろに置きます。

- 前から a long song (長い歌)
- 後ろから a song about summer (夏についての歌)

③ to ～ のかたまりが入る場所と、用法の名前

to ～ が入る場所	用法	例文と訳	ページ
名詞が入る場所（主語・動詞の後ろ・be動詞の後ろ）	名詞的	I like music. → I like to sing. (私は歌うことが好きだ。)	3～5
名詞を後ろから説明する	形容詞的	water to drink (飲むための水)	6
名詞以外（完成した文・気持ちの語）に情報を足す	副詞的	Emma went to the beach to swim. (エマは泳ぐために海辺へ行った。)	7・8

3 名詞的用法① 「～したい」「～するのが好き」を言う

このページのゴール want to・like to など、「～したい」「～するのが好き」を英語で言える

① 「もの」がほしいと「動作」をしたい

- もの I want a dog. (私は犬がほしい。)
- 動作 I want to have a dog. (私は犬を飼いたい。)

want の後ろには、「もの」も「動作」も置けます。動作を置くときは to + 動詞の原形にします。to have a dog は「犬を飼うこと」という1つのかたまりで、名詞と同じ働きをするので、名詞的用法といいます。

形 主語 + want + to + 動詞の原形 ～. 「～することを望む」→「～したい」

② to ～ をよく後ろに置く動詞 (to とセットで覚える)

want to ～	～したい	like to ～	～するのが好きだ
hope to ～	～することを望む	try to ～	～しようとする
need to ～	～する必要がある	decide to ～	～することに決める
start to ～	～し始める	begin to ～	～し始める

③ ヒント：to は「向かう先」

to はもともと「～へ」と向かう先を言う語です (go to school = 学校へ向かう)。不定詞の to ～ も、これから向かう動作を表すことが多く、want・hope・decide・try・need の後ろの動作は、まだしていないことです。like to のように今のことに使うので、あくまで見当をつけるヒントです。

- × I want eating pizza. → ○ I want to eat pizza.
(私はピザが食べたい。)
- want の後ろは to ～ です (ing の形は動名詞の単元で学びます)。

④ 例文

- She likes to cook.
(彼女は料理をすることが好きだ。)
- It started to rain in the afternoon.
(午後に雨が降り始めた。)

4 名詞的用法② 「夢は～することだ」「～することは…だ」 — 名詞の場所に入る

このページのゴール be動詞の後ろと主語に、「～すること」の to ～ を入れて言える

① 「～すること」のかたまりは、名詞と同じ場所に置ける

置く場所	例文と訳
動詞の後ろ (3ページ)	I want to watch a movie tonight. (私は今夜、映画を見たい。)
be動詞の後ろ	Her job is to make bread. (彼女の仕事はパンを作ることだ。)
文の主語	To learn English is fun. (英語を学ぶことは楽しい。)

② be動詞の後ろ：「A = ～すること」

be動詞は「=」の働きをします。My plan is ... の後ろに to ～ を置くと、「私の計画 = ～すること」と言えます。夢・計画・目標など、これからしたいことを言うときによく使います。

形 名詞 + is + **to + 動詞の原形** ～. 「(名詞) は～することだ」

Our goal is **to win** the final game.
(私たちの目標は決勝戦に勝つことだ。)

My dream is **to live** in Kyoto.
(私の夢は京都に住むことだ。)

③ 主語：To ～ の全体が主語

To learn English is fun. の主語は To learn English の全体（英語を学ぶこと）で、文の動詞は is です。to ～ のかたまりが、1つの名詞として主語の場所に入っています。

To speak English with people is important.
(人と英語で話すことは大切だ。)

To ～ が主語の文は文法的に正しい文ですが、会話ではかたく聞こえます。ふつうは5ページの It is ... to ～. を使います。

合言葉 「be動詞の後ろの to ～ は、主語 = ～すること」

5 It is ... (for 人) to 〜. — It は形だけ、中身は後ろ

このページのゴール 「(人にとって) 〜することは…だ」を、It is ... to 〜. で言える

① なぜ It を使うの？

To learn English is fun. は正しい文ですが、長いかたまりが文の最初にあって頭が重く、かたく聞こえます。そこでふつうは、主語の場所に It を置き、中身の to 〜 を後ろへ回します。

もとの文 **To learn** English is fun. （英語を学ぶことは楽しい。）
↓ It を先に It is fun **to learn** English. （英語を学ぶことは楽しい。）

前から読みます。It is fun（楽しい）→「何が？」→ to learn English（英語を学ぶこと）。この It は形だけの主語なので「それは」と訳しません。

形 **It is + 形容詞 + (for 人) + to + 動詞の原形** 〜.
「(人にとって) 〜することは…だ」

② 「人にとって」は for + 人

It is important for us **to help** each other.
（私たちにとって、助け合うことは大切な。）
for の後ろは me・him・us・her・them の形にします。× It is fun for she to sing. → ○ It is fun for her **to sing**. （彼女にとって歌うことは楽しい。）

③ 疑問文・否定文・過去の文

文の種類	例文と訳
疑問文 Is it ... to 〜?	Is it hard to play the drums? （ドラムをたたくことは難しいですか。）
否定文 It is not ... to 〜.	It is not easy for me to cook rice. （私にとってごはんをたくことは簡単ではない。）
過去の文 It was ... to 〜.	It was exciting to watch the game last night. （昨夜その試合を見るのはわくわくした。）

Nice **to meet** you.
（はじめまして。）
It is nice to meet you. の It is を省いた形です。

合言葉 「It は形だけ。中身は後ろの to 〜」

6 形容詞的用法 「～するための」で名詞を説明する

このページのゴール 「返す本」「何か飲むもの」のように、名詞を後ろから to ～ で説明できる

① 形容詞とは？

形容詞は、名詞が「どんな～か」を説明する語です。「赤い本」の「赤い」も、「図書館に返す本」の「図書館に返す」も、どんな本かを説明しています。2 ページで見たように、前置詞 + 名詞や to ～ のかたまりで説明するときは、名詞の後ろに置きます。

② 日本語は説明が前、英語は説明が後ろ

日本語（説明が前）	英語（説明が後ろ）
（図書館に返す）→ 本	<u>books</u> ← (<u>to return</u> to the library)
（何か飲む）→ もの	<u>something</u> ← (<u>to drink</u>)
（写真をとるのによい）→ 場所	a good <u>place</u> ← (<u>to take</u> pictures)

説明のかたまり（to ～）を（ ）でくくり、← で前の名詞にかけて読みます。名詞を説明するのは形容詞の働きなので、形容詞的用法といいます。

形 名詞 ← to + 動詞の原形 ～ 「～するための（名詞）」「～すべき（名詞）」

③ 前から読む

Ken has two tests to take this week.
（ケンには今週受けるテストが2つある。）
Ken has two tests → 「どんなテスト？」 → to take this week（今週受ける）。
I have a question to ask you.
（私にはあなたにたずねたい質問がある。）
Ken needs someone to help him.
（ケンには手伝ってくれる人が必要だ。）
訳は「～するための」に決まっています。「手伝ってくれる人」のように、名詞につながる自然な日本語にします。

テストによく出る形
something to drink （何か飲むもの）
something cold to drink （何か冷たい飲み物） 形容詞 cold は something のすぐ後ろ
have many things to do （すべきことがたくさんある）

合言葉 「名詞の説明は、後ろから to ～」

1 全体像	2 品詞	3～5 名詞的用法	6 形容詞的用法	7・8 副詞的用法	9 見分け方	10 長文
-------	------	-----------	----------	-----------	--------	-------

7 副詞的用法① 「～するために」で目的を言う

このページのゴール 「～するために…した」と、何のためにしたのかを英語で言える

① 骨組みの文に、目的をつけ足す

骨組み I left home early. (私は早く家を出た。) ← これだけで文が完成している
+ 目的 I left home early **to catch** the first train. (私は始発の電車に乗るために早く家を出た。)

文がもう完成しているところに to ～ をつけ足すと、「何のために」(目的)を言えます。文に情報をつけ足すのは副詞の働きなので、**副詞的用法**といいます。目的は、これから向かう動作です(3ページのヒント)。

形 骨組みの文 + **to + 動詞の原形** ～. 「～するために…」

前から読みます。I went to the zoo. ← ここで文は完成 → 「何のために？」 → to see pandas.

② 日本語 → 英語の順番

① 「～するために」をいったん外して、骨組みの文を作る

私は動物園へ行った → I went to the zoo.

② 「～するために」を to + 動詞の原形にする

パンダを見るために → to see pandas

③ 骨組みの文の後ろにつける

I went to the zoo **to see** pandas.
(私はパンダを見るために動物園へ行った。)

③ Why ～? には To ～. で答えられる

Why did you go to the library? — **To study** for the test.
(あなたはなぜ図書館へ行ったのですか。 — テスト勉強をするためです。)

④ 例文とテストによく出る形

Emma saved money **to buy** a new guitar.
(エマは新しいギターを買うためにお金をためた。)

テストによく出る形 stop ～ing と stop to ～ は意味がわかります。
He stopped **to look** at the flowers. (彼は花を見るために立ち止まった。) 目的の to ～
He stopped looking at his phone. (彼はスマホを見るのをやめた。) 動名詞

合言葉 「骨組みが先、目的は to ～ で後ろに」

8 副詞的用法② 「～して（うれしい）」で気持ちの原因を言う

このページのゴール 「～してうれしい」「～して驚いた」と、気持ちの原因を英語で言える

① 気持ち + その原因

- 気持ち I was glad. (私はうれしかった。) ← なぜ？
- + 原因 I was glad **to talk** with you. (私はあなたと話せてうれしかった。)

気持ちを表す語の後ろの to ～ は、ふつう「～して」（その気持ちになった原因）です。7ページの目的と同じく、文に情報をつけ足すので、副詞的用法の間です。

形 主語 + be動詞 + 気持ちの語 + **to + 動詞の原形** ～. 「～して…」

この to ～ は「これから」ではなく、その気持ちのもとになったこと（話せた・聞いた）です。「to = これから」は見当をつけるヒントで、いつもそうとは限りません。

② よく使う気持ちの語

気持ちの語	例文と訳
happy (うれしい)	Ken was happy to win the game. (ケンは試合に勝ってうれしかった。)
glad (うれしい)	I'm glad to meet you. (あなたに会えてうれしい。)
sad (悲しい)	She was sad to leave her friends. (彼女は友だちと別れて悲しかった。)
surprised (驚いた)	My mother was surprised to see the big cake. (母はその大きなケーキを見て驚いた。)
sorry (残念に思う)	I'm sorry to hear that. (それを聞いて残念に思う。)

合言葉 「気持ちの語の後ろの to ～ は『～して』」

③ いろいろな例文

Yuki was surprised **to find** her name on the list.
(ユキは名簿に自分の名前を見つけて驚いた。)

9 3つの用法を見分ける — 前から読んで、to ～ がどの問いに答えるか

このページのゴール 前から読んで、to ～ がどの問いに答えているかで、3つの用法を見分けられる

① 用法を決める手順

- ① 主語と動詞を見つけて前から読み、足りない情報を考える：「何を？」「どんな○○？」「何のために？」「なぜその気持ちに？」
- ② to ～ を（ ）でくくり、どの問いに答えるかで用法を決める

② to ～ が答える問いと、用法

to ～ が答える問い	用法と訳	例文と訳
「何が？」「何を？」「何だ？」（主語・動詞の後ろ・be動詞の後ろ・Itの中身）	名詞的 「～すること」	My plan is to clean my room this weekend. (私の計画は今週末、部屋をそうじすることだ。)
「どんな○○？」（前の名詞を説明する）	形容詞的 「～するための」	Yuki has a lot of pictures to show you. (ユキにはあなたに見せたい写真がたくさんある。)
「何のために？」（文に目的をつけ足す）	副詞的 「～するために」	My father cleaned the kitchen to surprise my mother. (父は母を驚かせるために台所をそうじした。)
「なぜその気持ちに？」（気持ちの語の原因）	副詞的 「～して」	Emma was glad to join the club. (エマはクラブに入れてうれしかった。)

③ ヒント：to の前の語を見ると、見当がつく

前が動詞・be動詞 → 名詞的、名詞 → 形容詞的、気持ちの語 → 副詞的（～して）のことが多いですが、最後は問いで決めます。

I went to the park **to play** tennis.
(私はテニスをするために公園へ行った。)
park のすぐ後ろですが、公園を説明せず、行った目的を言っているので副詞的です。

④ 文の最初の To ～ は、後ろを見る

To ～ の後ろ	例文と訳
すぐ is などが続く（かたまりが主語） → 名詞的「～すること」	To play the piano is fun. (ピアノをひくことは楽しい。)
後ろに「主語＋動詞」の文が続く → 副詞的「～するために」	To catch the bus, I ran to the station. (バスに乗るために、私は駅へ走った。)

10 長文で確かめる ― 3つの用法が1つの話の中に

このページのゴール 文章の中で、3つの用法がどう使われているかが分かる

ケンの日曜日の話です。①～⑨の to ～ が、それぞれどの問いに答えているかを考えながら読み、下の表で確かめましょう。

Last Sunday, Ken went to the city library ①to study for a test. He also wanted ②to find some books about space. At the library, he found a lot of books ③to read. One of them was about the moon. Ken was surprised ④to learn many new things about it. He started ⑤to read the book, but he didn't have time ⑥to finish it there. So he decided ⑦to borrow it. He thinks that it is exciting ⑧to study space. Now his dream is ⑨to visit the moon someday.

訳 先週の日曜日、ケンはテストの勉強をするために市立図書館へ行きました。彼は宇宙についての本も何冊も見つけたいと思っていました。図書館で、彼は読む本をたくさん見つけました。その中の1冊は月についての本でした。ケンは月について新しいことをたくさん知って驚きました。彼はその本を読み始めましたが、そこで読み終える時間がありませんでした。そこで、彼はその本を借りることに決めました。彼は、宇宙を勉強するのはワクワクすると思っています。今、彼の夢はいつか月を訪れることです。

to ～	答えている問い	用法と訳
① to study	何のために図書館へ行った？	副詞的「勉強するために」
② to find	wanted は何を？	名詞的「見つけること」
③ to read	どんな books？	形容詞的「読むための（本）」
④ to learn	なぜ surprised（驚いた）？	副詞的「知って」
⑤ to read	started は何を？	名詞的「読むこと」
⑥ to finish	どんな time？	形容詞的「読み終えるための（時間）」
⑦ to borrow	decided は何を？	名詞的「借りること」
⑧ to study	It is exciting → 何が？（It の中身）	名詞的「勉強すること」
⑨ to visit	is の後ろ。夢は何？	名詞的「訪れること」

③の books と⑥の time のように、すぐ前が名詞で、その名詞を説明していれば形容詞的です。①は library のすぐ後ろですが、図書館を説明せず、行った目的を言っているので副詞的です。

確認問題 ① 形と働き

答えと解説は15・16ページ（8枚目の紙の表と裏）にあります。【 】は、わからないときに読み直すページです。

1 次の文の「to」が入る位置を、記号で答えなさい。【3・6・7・8ページ】

- (1) 私はピアノをひくことが好きだ。
I (ア) like (イ) play (ウ) the (エ) piano. 答え _____
- (2) 兄はサッカーの選手になりたい。
My brother (ア) wants (イ) be (ウ) a (エ) soccer player. 答え _____
- (3) 私たちはテストに合格するために一生けんめい勉強した。
We (ア) studied (イ) hard (ウ) pass (エ) the test. 答え _____
- (4) 彼女には今日すべき宿題がある。
She (ア) has (イ) homework (ウ) do (エ) today. 答え _____
- (5) トムはその試合に負けて悲しかった。
Tom (ア) was (イ) sad (ウ) lose (エ) the game. 答え _____

2 下線部の不定詞はどの用法ですか。ア 名詞的 イ 形容詞的 ウ 副詞的 から選びなさい。【4・6・7・8・9ページ】

- (1) He wants something to eat. _____
- (2) To take good pictures, he bought a new camera. _____
- (3) Her goal is to win the contest. _____
- (4) I was happy to get the letter. _____
- (5) Kyoto has many temples to see. _____

3 A・Bの下線部の不定詞が同じ用法なら○、ちがえば×を書きなさい（目的と原因は、どちらも副詞的）。【4・6・7・8・9ページ】

- (1) _____
A: He has a lot of songs to practice today.
B: She went to the park to walk her dog.
- (2) _____
A: She went to bed early to get up at five.
B: He was happy to play soccer with his brother.
- (3) _____
A: My hobby is to collect old coins.
B: He has a story to tell.

4 日本語に合うように、□に1語ずつ書きなさい。【3・4・5・6ページ】

- (1) 彼女の夢は看護師になることだ。
Her dream □ □ be a nurse.
- (2) 私は将来、英語の先生になりたい。
I want □ □ an English teacher in the future.
- (3) 彼にとってギターをひくことは簡単だ。
It is easy □ him □ play the guitar.
- (4) 私は何かあまい食べ物がほしい。
I want something □ □ □.

確認問題 ② 文を作る・読む

5 次の文を、It is ... to ～. の文に書きかえなさい。【5ページ】

(1) To make a cake is not easy.

(2) To get up early is important for us.

6 次の日本語を英語にきなさい。【3・6・7ページ】

(1) 私たちは毎朝走ることに決めた。

(2) 北海道には訪れるべき場所がたくさんある。

(3) 彼女は写真をとるために奈良へ行った。

7 次の2つの文を、() の日本語に合うように、不定詞を使って1つの文にきなさい。【7ページ】

(1) Ken went to the bookstore. He bought a dictionary there.

(ケンが辞書を買うために書店へ行った。)

(2) Emma opened her book. She checked the answer.

(エマは答えを確かめるために本を開いた。)

8 次の英文を、前から読んで日本語にきなさい。【3・6・7・9ページ】

(1) Yuki likes to draw pictures.

(2) Emma has a plan to open a small shop.

(3) Tom opened the window to get some fresh air.

9 次の英文にはまちがいが1か所あります。日本語に合う正しい英文に書き直きなさい。【1・3・5ページ】

(1) 私は今週末、祖母をたずねたい。 I want visit my grandmother this weekend.

(2) 彼はサッカーをするために早起きした。 He got up early to plays soccer.

(3) 私がその質問に答えるのは簡単だ。 It is easy for I to answer the question.

確認問題 ③ まとめの問題

10 (1) (2) は日本語に合うように、(3) (4) は対話の内容から考えて、() 内の語を並べかえなさい。(3) (4) は6つの語のうち1つが不要です。文の最初にくる語も小文字にしてあります。【5・6・8ページ】

(1) 彼女は手紙を読んでうれしかった。(was / read / she / to / glad / the letter) .

(2) 彼女には昼ごはんを食べる時間がなかった。(didn't / she / have / time / to / eat) lunch.

(3) (高校入試の型)

A: Do you want to play tennis with me this afternoon?

B: Sorry, I can't. (writing / some / I / to / letters / have) write today.

(4) (高校入試の型)

A: Did you enjoy reading the English book?

B: Yes. But it (was / hard / to / for / I / me) read the last part.

11 次の英文は、ユキが将来の夢について書いたものです。読んで、あとの問いに答えなさい。【3・5・7・8ページ】

Yuki has a dream. She wants to be a nurse in the future. Last Saturday, she visited a hospital to learn about the job. At the hospital, a kind nurse was busy, but she had time to answer Yuki's questions. Yuki was happy to hear about the nurse's job. ① The nurse said, "It is important to help sick people with a smile." Yuki decided to study hard to be a good nurse. She has many books to read now. They are about health. ② Yuki's mother was surprised to see her new books. Yuki said, "I have a goal now. I want to help other people, too." She hopes to talk with the nurse again.

(1) 下線部①を日本語にしなさい。

(2) 下線部②を日本語にしなさい。

(3)・(4) は、本文の内容に合うように、英語で答えなさい。

(3) What does Yuki want to be in the future?

(4) Why did Yuki visit the hospital last Saturday?

(5) ユキは "I have a goal now." のあとで、何をしたいと言っていますか。日本語で答えなさい。

このプリントに出てきた単語

代名詞 (I, you, it など) ・ 冠詞 (a, the) ・ in や and のようなごく基本的の語と、人名 ・ 地名はのせていません。

動詞（原形 - 過去形）	そのほかの語（ABC順）		
answer - answered	afternoon	many	たくさんの
ask - asked	again	money	お金
become - became	air	moon	月
begin - began	also	morning	朝（every morning = 毎朝）
borrow - borrowed	around	mother	母
buy - bought	beach	movie	映画
catch - caught	bed	music	音楽
check - checked	big	name	名前
clean - cleaned	book	new	新しい
collect - collected	bookstore	nice	すてきな、よい
cook - cooked	bread	night	夜（last night = 昨夜）
decide - decided	brother	now	今
do - did	bus	nurse	看護師
draw - drew	busy	old	古い、昔の
drink - drank	cake	other	ほかの
eat - ate	camera	panda	パンダ
enjoy - enjoyed	can	park	公園
find - found	city	part	部分
finish - finished	club	people	人々
get - got	coin	phone	電話（on the phone = 電話で）
go - went	cold	piano	ピアノ
have (has) - had	contest	picture	写真、絵
hear - heard	dictionary	pizza	ピザ
help - helped	dog	place	場所
hope - hoped	dream	plan	計画、予定
join - joined	drums	player	選手
learn - learned	each	question	質問
leave - left	early	rain	雨（動詞：雨が降る）
like - liked	easy	rice	米、ごはん
live - lived	every	room	部屋
look - looked	exciting	sad	悲しい
lose - lost	fast	Saturday	土曜日
make - made	father	school	学校（go to school = 学校へ行く）
meet - met	final	shop	店
need - needed	first	sick	病気の
open - opened	flower	small	小さい
pass - passed	for	smile	ほほえみ
play - played	fresh	soccer	サッカー
practice - practiced	friend	some	いくつかの
read - read	fun	someday	いつか
return - returned	future	someone	だれか
run - ran	game	something	何か
save - saved	glad	song	歌
say - said	goal	sorry	残念に思う、申しわけなく思う
see - saw	good	space	宇宙
show - showed	grandmother	station	駅
sing - sang	guitar	story	話
speak - spoke	happy	summer	夏
start - started	hard	Sunday	日曜日
stop - stopped	health	surprised	驚いた
study - studied	hobby	sweet	あまい
surprise - surprised	home	teacher	先生
swim - swam	homework	temple	寺
take - took	hospital	tennis	テニス
talk - talked	house	test	テスト
tell - told	important	thing	もの、こと
think - thought	job	time	時間
travel - traveled	kind	today	今日
try - tried	kitchen	tonight	今夜
visit - visited	last	too	〜も
walk - walked	letter	train	電車
want - wanted	library	up	上へ（get up = 起きる）
watch - watched	list	water	水
win - won	long	week	週（this week = 今週）
write - wrote	lot	weekend	週末（this weekend = 今週末）
	lunch	window	窓
		world	世界
		zoo	動物園

確認問題の答えと解説 ① （大問1～6）

1

(1) イ I like to play the piano. (私はピアノをひくことが好きだ。)

like の後ろに「ひくこと」。名詞的用法。【3】

(2) イ My brother wants to be a soccer player. (兄はサッカーの選手になりたい。)

wants の後ろに「なること」。名詞的用法。【3】

(3) ウ We studied hard to pass the test. (私たちはテストに合格するために一生けんめい勉強した。)

We studied hard. で文が完成。その後ろに目的。副詞的用法。【7】

(4) ウ She has homework to do today. (彼女には今日すべき宿題がある。)

「すべき宿題」。名詞 homework を後ろから説明。形容詞的用法。【6】

(5) ウ Tom was sad to lose the game. (トムはその試合に負けて悲しかった。)

気持ちの語 sad の後ろで「負けて」。副詞的用法 (原因)。【8】

2

(1) イ He wants something to eat. (彼は何か食べるものをほしがっている。)

「どんなもの？」→ 食べるための。something を後ろから説明。形容詞的用法。【6・9】

(2) ウ To take good pictures, he bought a new camera. (よい写真をとるために、彼は新しいカメラを買った。)

後ろに he bought … という文がある。「何のために？」の答え。副詞的用法。【7・9】

(3) ア Her goal is to win the contest. (彼女の目標はそのコンテストで優勝することだ。)

be動詞の後ろで「優勝すること」。名詞的用法。【4・9】

(4) ウ I was happy to get the letter. (私はその手紙をもらってうれしかった。)

「なげううれしい？」→ もらって。副詞的用法 (原因)。【8・9】

(5) イ Kyoto has many temples to see. (京都には見るべき寺がたくさんある。)

「どんな寺？」→ 見るべき。temples を後ろから説明。形容詞的用法。【6・9】

3

(1) × A: He has a lot of songs to practice today. (彼には今日練習すべき歌がたくさんある。)

B: She went to the park to walk her dog. (彼女は犬を散歩させるために公園へ行った。)

A は songs を説明する形容詞的用法、B は行った目的で副詞的用法。【6・7・9】

(2) ○ A: She went to bed early to get up at five. (彼女は5時に起きるために早く寝た。)

B: He was happy to play soccer with his brother. (彼は兄とサッカーをしてうれしかった。)

A は目的、B は気持ちの原因。どちらも副詞的用法。【7・8・9】

(3) × A: My hobby is to collect old coins. (私のしゅみは古い硬貨を集めることだ。)

B: He has a story to tell. (彼には話すべき話がある。)

A は be動詞の後ろで名詞的用法、B は story を説明する形容詞的用法。【4・6・9】

4

(1) is / to Her dream is to be a nurse. (彼女の夢は看護師になることだ。)

be動詞の後ろに「なること」。名詞的用法。【4】

(2) to / be I want to be an English teacher in the future. (私は将来、英語の先生になりたい。)

want の後ろは to + 原形。「なる」は be (to become でもよい)。【3】

(3) for / to It is easy for him to play the guitar. (彼にとってギターをひくことは簡単だ。)

It is ... for 人 to 〜。【5】

(4) sweet / to / eat I want something sweet to eat. (私は何かあまい食べ物がほしい。)

形容詞 sweet は something のすぐ後ろ、to 〜 はその後ろ。形容詞的用法。【6】

5

(1) It is not easy to make a cake. (ケーキを作ることは簡単ではない。)

主語の To make a cake を後ろへ回し、主語の場所に It。【5】

(2) It is important for us to get up early. (早起きすることは私たちにとって大切だ。)

for us (私たちにとって) は to 〜 の前に置く。【5】

6

(1) We decided to run every morning. (私たちは毎朝走ることに決めた。)

decide の後ろに「走ること」。名詞的用法。【3】

(2) There are many places to visit in Hokkaido. (北海道には訪れるべき場所がたくさんある。)

places を後ろから説明。形容詞的用法。Hokkaido has many places to visit. (同じ意味) でもよい。【6】

(3) She went to Nara to take pictures. (彼女は写真をとるために奈良へ行った。)

骨組みの文の後ろに目的。副詞的用法。To take pictures, she went to Nara. (前に置く形) でもよい。【7】

確認問題の答えと解説 ② （大問7～11）

7

(1) **Ken went to the bookstore to buy a dictionary.**（ケンは何冊を買うために書店へ行った。）
骨組みの文の後ろに、目的を to + 原形でつける。副詞的用法。【7】

(2) **Emma opened her book to check the answer.**（エマは答えを確かめるために本を開いた。）
骨組みの文の後ろに、目的を to + 原形でつける。副詞的用法。【7】

8

(1) **ユキは絵をかくことが好きだ。**
Yuki likes ... → 「何が好き？」 → to draw pictures. 名詞的用法。【3・9】

(2) **エマには小さな店を開く計画がある。**
Emma has a plan → 「どんな計画？」 → to open a small shop. 形容詞的用法。【6・9】

(3) **トムは新鮮な空気を入れるために窓を開けた。**
Tom opened the window で文が完成 → 「何のために？」 → to get some fresh air. 副詞的用法（目的）。【7・9】

9

(1) **I want to visit my grandmother this weekend.**（私は今週末、祖母をたずねたい。）
want のすぐ後ろに動詞は続けない。to を入れる。【3】

(2) **He got up early to play soccer.**（彼はサッカーをするために早起きした。）
to の後ろは原形。plays ではなく play。【1】

(3) **It is easy for me to answer the question.**（私とその質問に答えるのは簡単だ。）
for の後ろは目的格。I ではなく me。【5】

10

(1) **She was glad to read the letter.**（彼女は手紙を読んでうれしかった。）
気持ちの語 glad の後ろに原因。副詞的用法。【8】

(2) **She didn't have time to eat lunch.**（彼女には昼ごはんを食べる時間がなかった。）
time を「食べるための」と後ろから説明。形容詞的用法。【6】

(3) **I have some letters to write today.**（ごめん、行けない。今日は書かなければならない手紙が何通もあるんだ。）
letters を後ろから to write が説明（どんな手紙？ → 書くべき）。形容詞的用法。to の後ろは原形なので writing は使わない。【6】

(4) **But it was hard for me to read the last part.**（ええ。でも、最後の部分を読むのは私には難しかった。）
It は形だけの主語、中身は to read the last part。「人にとって」は for + me（目的格）なので I は使わない。【5】

11

(1) その看護師は「笑顔で病気の人を助けることが大切です」と言いました。
It is ... to 〜. の文。It は「それは」と訳さない。【5】

(2) **ユキのお母さんは、彼女の新しい本を見て驚きました。**
気持ちの語 surprised の後ろで「見て」。副詞的用法（原因）。【8】

(3) **She wants to be a nurse.**（彼女は看護師になりたいと思っています。）
本文に She wants to be a nurse in the future. とある。【3】

(4) **She visited it to learn about the job.**（その仕事について知るために訪れました。）
本文に she visited a hospital to learn about the job とある。目的。To learn about the job.（7ページの Why 〜? — To 〜. の形）や Because she wanted to learn about the job. でもよい。【7】

(5) **ほかの人々も助けたい（と言っている）。**
本文の I want to help other people, too. の部分。【3】

本文の訳 ユキには夢があります。彼女は将来、看護師になりたいと思っています。先週の土曜日、彼女はその仕事について知るために病院を訪れました。病院で、親切な看護師は忙しかったですが、ユキの質問に答える時間がありました。ユキはその看護師の仕事について聞いてうれしかったです。①その看護師は「笑顔で病気の人を助けることが大切です」と言いました。ユキはよい看護師になるために一生けんめい勉強することに決めました。彼女には今、読むべき本がたくさんあります。それらは健康についての本です。②ユキのお母さんは、彼女の新しい本を見て驚きました。ユキは「今、目標があるの。ほかの人々も助けたいの」と言いました。彼女はまたその看護師と話すことを望んでいます。